

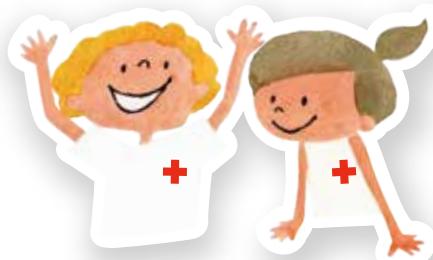
せきじゅうじって、 なんだろう？



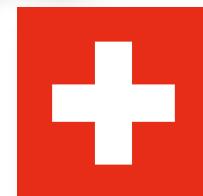
せきじゅうじ 赤十字のマーク



みんなの むね についている マークを 知っていますか？
これは、赤十字のマークです。



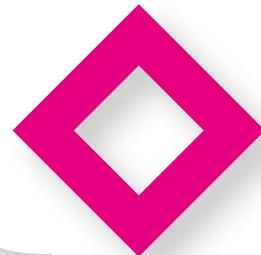
赤十字を つくったアンリー・デュナンが
生まれた「スイス」のこっきの 色を
はんたいにして つくられました。



しかし、せかいには、いろいろなりゆうで、このマークを
つかえない国もあります。そこで「赤新月マーク」が
つくられ、「赤十字マーク」と同じものとして
つかわれるようになりました。



さらに、2005年には「レッドクリスタルマーク」も
赤十字のマークにくわわりました。



赤十字のマークは、いのちをまもるための、大切なマークです。
せかいじゅうじで、くるしんでいるひとや、その人たちを
たすけるひとを、まもるためにつかわれています。
そのため、このマークがついている びょういんや ひとには、
せんそうちゅうでも ぜったいにこうげきしては
いけないことになっています。
このことは、「ジュネーブじょうやく」という、
せかいの やくそくで きめられています。



せきじゅうじ 赤十字の父 アンリー・デュナン

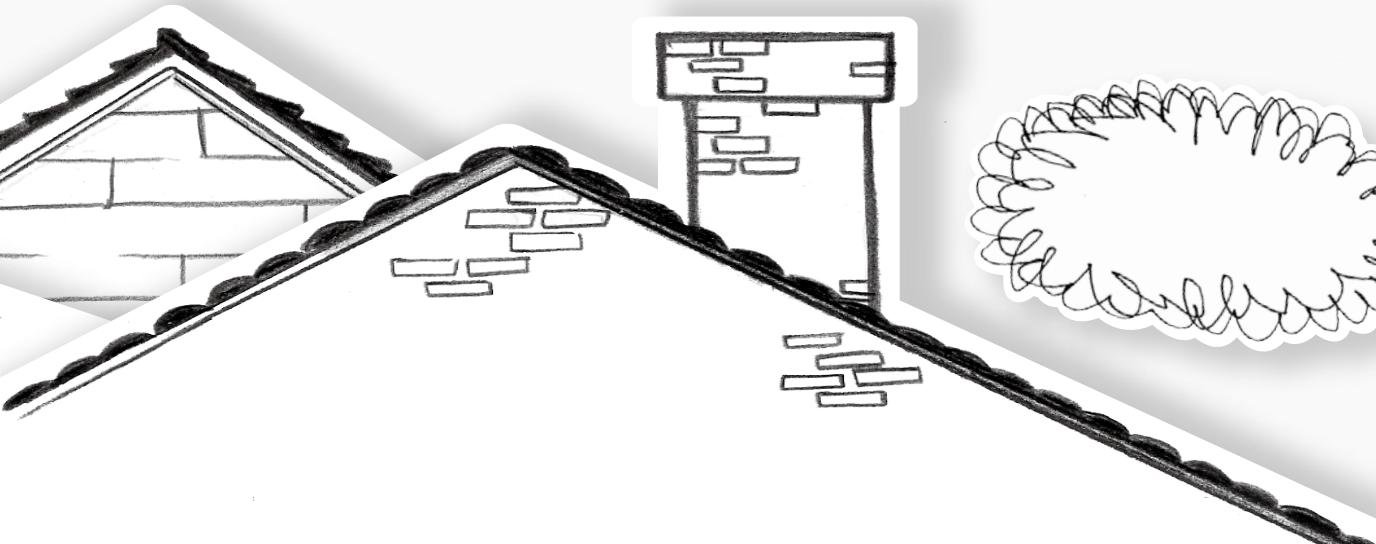
いまからやく190年まえスイスのジュネーブという町に、デュナンという男の子が生まれました。デュナンはとてもやさしい子でおさないときからびょうきの人を元気づけたりまずしい人のお手つだいをしたりしました。

大人になったデュナンがしごとでイタリアのソルフェリーノという町を通りかかったとき、そこにはせんそうできずついたたくさんのけが人が手当てもされずにくるしんでいました。

デュナンはかなしくてむねがはりさけそうになりました。すぐに町の人によびかけて手当てをはじめました。
「きずついた人はてきもみかたもありません。
人間はみんなきょうだいです。」
デュナンはそういうて手当てをしました。

ふるさとに帰ったデュナンはなやみました。デュナンの頭からくるしみながらしんでいった、たくさんの人たちのすがたがはなれなかつたからです。





デュナンは「せんそ^うは してはいけない。もしそれが
できないのなら けがをした人は みんなすけましょ^うう。」
と、よびかけました。

デュナンの よびかけに たくさんの人たちが
さんせいしました。そして 16 の国^{くに}のだいひょうの
ひとたちが はなしあって 赤十字^{せきじゆう}を つくりました。

デュナンは このかいぎを しずかに
み見まもっていましたが かいぎが
おわったとき デュナンの目^めには
なみだが あふれて いました。



その後^{あと}も デュナンは
赤十字^{せきじゆう}のために いっしょ^うけんめい
はたらいて 73さいのときに
ノーベルへいわしょ^うをもらいました。
デュナンはなくなるまで ひとりとの
しあわせを 考え
しづかに しょうがいを とじました。



にっぽんせきじゅうじしゃ 日本赤十字社のおこりとかつどう

アンリー・デュナンがつくった赤十字は、
げんざい192の國ぐにて
かつどうしています。

日本の赤十字は1877年に
佐野常民によってつくられました。

大きなたたかいが 日本であったとき、



そのたたかいで けがをした人を、
てきでも みかたでも くべつななくたすけた ひとによって、
日本の赤十字は生まれたのです。



140年以上たった げんざいでも、日本赤十字社は
日本かくちで いのちをまもる かつどうを しています。

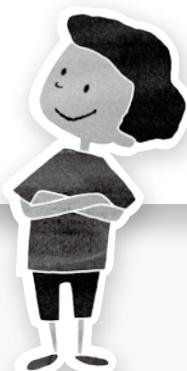
せき じゅう じ
赤十字は

- ・せんそうや ふんそうで けがをした人ひとを たすけます
- ・さいがいの ひがいにあった人ひとを たすけます
- ・びょうきで くるしんでいる人ひとを たすけます
- ・お年としよりや しょうがいの ある人ひとを たすけます

これらのかつどうは、国や せいべつ、
しゅうきょうなどによって さべつすることなく
おこなわれています。これらは ボランティアの
きょうりょくで おこなわれています。みなさんのような
青少年も、赤十字の大切な なかまです。



みなさんが、いのちと けんこうを大切にし、
お友だちと なかよくするかつどうを、
「青少年赤十字」といいます。



せい しゅう ねん せき じゅう じ 青少年赤十字

○たんじょう

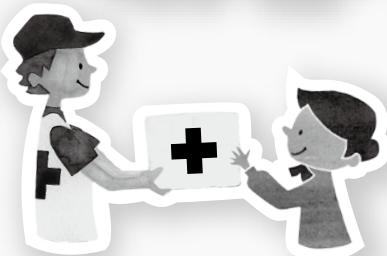
いま ねん まえ
今から100年くらい前に ヨーロッパで
おお
大きなせんそうがあり、
たくさんの子どもたちが いえやかぞくを うしました。

そんなとき、アメリカや
オーストラリアの子どもたちが
ヨーロッパの子どもたちをなぐさめ
はげまそうと、
がっこう せんせい
学校の先生とそだんして

さく ぶん え
作文や絵、がくようひんや
かね せき じゅう じ しゃ
お金をあつめ、赤十字社に もっていきました。

そしてそれらが 赤十字社から
ヨーロッパの子どもたちにおくられました。
子どもたちは、とてもゆうきづけられました。

このことが きっかけとなり 自分から すすんでお友だちや
そのほかの人のために よいおこないができるようにと、
せい しょう ねん せき じゅう じ う
青少年赤十字が 生まれたのです。



○かつどう

だれもが もっている やさしい気もちを お友だちや
ほかの人たちに あげることです。やさしい気もちを
こうどうに うつすことが 大切です。
自分で 気がついたことや よいと思ったことは どんどん
してみましょう。先生や おうちの人に 言われたから
するのではなく、自分で 考えて するのが 大切なことです。

たとえば、こんなこと

がっこう 学校で

きづき 校ていに ボールが おちている。

かんがえ どうして つかいっぱなしにするんだろう。
ボールが かわいそうだな。
なくなってしまうかもしれない。

じっこう 実行する もとのところにもどしておく。



がっこう 学校のそとで

きづき おうだんはどうを わたれないで こまっている
おじいちゃんが いました。
あっ、こまっている人が いる。

かんがえ どうしたら むこうがわに
わたれるかな。

じっこう 実行する ボタンを おしてあげる。
いっしょに わたってあげる。



○もくひょう

青少年赤十字の なかまは、わたしたちだけではなく、ほかの小学校や中学校、高校などに たくさんいます。わたしたちは、いつも元気で学校のお友だちと なかよくするだけでなく、せかい中の友だちとも なかよくし 毎日、楽しい 生活ができるよう よいおこないをしていきましょう。

青少年赤十字では、わたしたちが 赤十字のことを よく知って、みぢかなところから たすけあいや 思いやりの 心をひろげ、人のためと自分のためにどりよくできるよう じっせんもくひょうというものをきめています。

1 けんこう・あんぜん

自分や ほかの人のいのちと けんこうを大切にし
あんぜんな生活を こころがけます。
学校では、しゅうだん登下校、手あらいやうがい・
きゅうしょくのあとのはみがきなどをすすめます。
きゅうしょくや 朝ごはん・夕ごはんを
すききらいなく なんでも食べましょう。



2 ほうし

かていで、学校で、町の中で たすけあいを
すすめます。ぼきん、しようずみ切手あつめ、
しせつほうもんなどを おこないます。
こまっている人を見たら いつでも
親切にし、たすけてあげましょう。



3 こくさいりかい・しんせん

せかいのお友だちとなかよくします。
こうりゅうしゅうかいへのさんか、メールのこうかん、
しんせんアルバムづくりなどをおこないます。
このようなことに 気をつけて毎日をおくっていくと、
たくさん友だちができ、おうちや学校、町の中が
とても明るくなり、自分でなくほかのお友だちも
みんな毎日たのしくよい気もちで すごすことが
できるようになります。

さあ、まず自分からやってみましょう。



もっと知りたいみなさんのために

赤十字や 青少年赤十字について、もっとくわしく知りたいさんは、
つぎのしりょうを先生といっしょによんでみましょう。

赤十字のマークについて

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：31ページ

ジュネーブじょうやくと赤十字のきまりについて

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：32～34ページ

アンリー・デュナンについて

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：26～30ページ

・赤十字の父 アンリー・デュナン

日本の赤十字について

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：37～41ページ

せかいの赤十字について

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：35～36ページ, 42～43ページ

青少年赤十字について

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：4～11ページ, 18～25ページ

ボランティアについて

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：12～17ページ

せきじゅうじって、なんだろう？

平成20年12月 初版発行

平成27年6月 第2版2刷発行

令和3年8月 第3版3刷発行

令和4年7月 第3版4刷発行

編集者 日本赤十字社 事業局 パートナーシップ推進部

ボランティア活動推進室 青少年・ボランティア課

〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3 電話 03-3437-7083(直通)

ホームページ：<https://www.jrc.or.jp/>



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



〒105-8521 東京都港区芝大門1丁目1番3号 TEL 03-3437-7083(直通) FAX 03-3432-5507